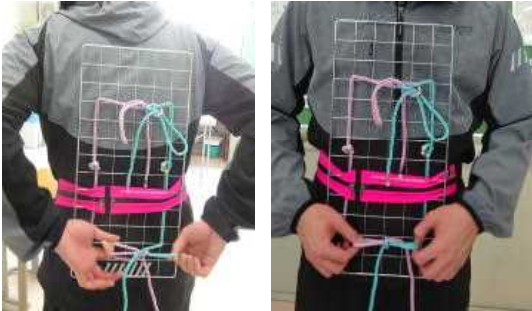


自作教具の活用事例

【作品名】 結べるくん	【学校名】 日立市立大みか小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動（前後上下の空間認知）	【制作者名】 須藤 貴憲
【制作の意図】 エプロン、靴紐、三角巾、ハーフパンツなど、体の前後上下などで紐を結ぶことが苦手な児童でも、簡単に練習に取り組むことができる。 ローコストで作ることができる。（すべて100均で購入可。）	【使用の方法】 お腹でベルトのバックルを留めて、紐を結ぶ練習をしたい方向に金網を動かす。（1人でバックルを腰で留めたり、先生や友達に金網を持ってもらったりするなど、実態に応じて装着する。金網の高さを微調整して、紐を結ぶ練習をする。 うまくできたかどうかは、ベルトを外して自分で結び方を確認したり、先生や友達に確認してもらったりして分かる。
【制作上の工夫】 ベルトのバックル部分がゴム製なので伸び縮みし、体格に関係なく装着できる。 ベルトで装着するので、ベルトを前後上下の練習したい向きや高さで装着できる。 目の大きい棚用の金網なので、紐を簡単に交換でき、いろいろな種類の紐で練習できる。	【見取り図】 
【写真】  紐を後ろで結ぶ 前で結ぶ  バンダナを上（後頭部）で結ぶ	・金網は、縦47cm、横22cm のものを使用する。 ・ウエストポーチは、バックル部分を金網に通す。 ・紐は上下で練習できるように2本で縦に通す。（上で練習しない時は、結んでおく。） ・バンダナは頭の大きさに幅を変える。
【材料・材質・部品等】 棚用の金網（背中サイズ） ベルト（ランニング用ウエストポーチ） 巾着用の紐 布（バンダナや手ぬぐい）	【使用効果と応用発展】 場所をとらず、短時間で繰り返し練習することができる。 友達と教え合いながら練習することができる。 紐の種類を変えることで、いろいろな紐に触れることができる。